

# 10月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡中心。夏場の高温の影響により品質の低下が見られ、出荷量は昨年よりやや少な目の見込みとなる。
	黄・赤菊	主な産地は静岡、愛知、東北方面。主な品種は精の光彩となり、路地の品種は高温の影響により秀品率の低下が見られ、出荷量もやや減少の見込み。
小菊		主な産地は福島、静岡など。例年よりも作付け量が減少し、色バランスの崩れも見込まれる。全体的に少な目の出荷が予想される。
SPマム		主な産地は愛知、静岡、栃木。品種が徐々に秋系品種に切り替わる。生育は例年に比べ遅れ気味で、作付け量は昨年並みとなっている。
バラ		高温猛暑の影響により、各産地上位等級の発生が少ないが、出荷自体は潤沢の見込み。
カーネーション		ST・SPどちらも北海道中心だが産地の切り替え時期の為、数量は減少。千葉、静岡などの暖地の出荷が揃い始める見込み。
かすみ草		高冷地は前進で暖地は例年並みの出荷開始となる為、一時的に数量が減少する可能性あり。
リシアンサス		約2週間ほど前進しており、高冷地の切り上がりが早い為品薄が予想される。
ユリ	オリエンタル	埼玉、新潟、北海道中心。北海道は数量が減少、新潟の山手はやや遅れ気味の生育状況で、品質が例年よりも良くない。平場は例年並みで、少しずつ数量は増える見込み。白：色は6：4の出荷で、カサブランカは少なく八重咲き多い。
	スカシ・鉄砲	・スカシLAユリはやや少な目の出荷となる見込み。 ・テッポウユリは新鉄砲が終盤で、埼玉等から球根鉄砲が始まってくる。数量は例年並みで多く無い。
洋ラン類		・オンシジューム、デンファレ：国産、輸入共に潤沢な出荷の見込み。 ・シンビジューム、ファレノ：輸入中心。・カトレアも数量が潤沢です。
季節もの		・紅葉物：猛暑の影響により、大幅な遅れや葉が溶けてしまっている。・実物：生産地によっては出荷出来ない所もある。 ・グラジオラス：長野産は10月中旬までの出荷予定。茨城産は9月下旬から微増傾向の見込み。